（１）　主題名　強い意志　〔中学校１－（２)〕
（２）　ねらい　飲酒，喫煙などの誘惑に対して，勇気をもって断る態度を育てる。
（３）　資料名　「なぜきっぱり断れないか」（出典：中学校　道徳の指導資料第１集　文部省　改作）

資料の概要
主人公の田中君は，下校途中にコンビニ立ち寄った。偶然に居合わせた級友にパンを買わされたこことから，望まないつきあいが始まる。そして級友との望まない関係が深くなっていくなかで，喫煙を誘われることになり，田中君は悩む。

（４）　学習指導過程

	学　習　活　動	主な発問と生徒の心の動き	留　意　点
導入	1　校則を確認する。 2　自分の経験を確認する。	○本校では，下校途中にコンビニに寄ってもいいことになっているでしょうか。 ○コンビニに寄ろうと思ったことがある人は，そのときの気持ちを思い出してみましょう。	○自分のことを発表しにくい 場合は，思い出させるだけにする。
展開	3　資料を読んで，田中君の気持ちを整理して考える。 4 よりよい行動を考える 。 5　最後の場面を考える。 6　田中くんが誘われた理由を考える。	○田中君が，初めてコンビニでパンを買ってあげたときの気持ちを考えましょう。 ・１回くらいならいいか ・断るとあとがめんどくさいなあ ・ケチだと言われたくない ○田中君がタバコをすすめられて「今日はやめとくよ」と言って断りましたが，この断り方をどう思いますか。 ・今日は・・と言った方が断りやすい ・臆病だと思われたくない ・曖昧な断り方でよくない ○田中君は，なぜまた誘われるだろうと思ったのでしょうか。 ・吉田君がしつこそうだから ・きちんと断らなかったのがわかっている ○再び誘われない断り方を考えましょう。 ・タバコには興味がないよ ・僕はタバコはよくないと思う ○公民館の裏の場面で，田中君はどうしたらいいか考えましょう。 ・きっぱりと断る ◎なぜ田中くんが誘われたのかを考えましょう。 ・校則を破ったから，仲間にしやすいと思った ・きっぱりと断らないので，次も誘いやすい ・近道をしようとするような心に原因がある	○自分にもあてはまりそうなことに気付かせる。 ○はっきりと断っていないことに気付かせる。 ○はっきりと断っていないことを田中君自身も知っていることを確認する。 ○決断するには勇気が必要なことに気付かせる。 ○大勢のなかで断るには，さらに勇気が必要なことに気付かせる。 ○タバコに限らず，すきを見せると誘われやすいことに気付かせる。 ○人間の弱さに気付かせる。
終末	7　心のノートを読み，今日の授業の感想を書く。	・自分にも弱いところがあった ・自分はきちんと断ることができる ・友だちのことを考えると断れない場合もあると思うが，がんばる	○Ｐ２２～２３ 「中学生だもの，自分で考え，判断し実行するのはあたりまえ」「まっいいか，やば」を活用する。

なぜきっぱり断れないか

田中君は野球部での練習の疲れと空腹のために、学校の帰りにふらふらとコンビニへ入ってしまった。

ところが、店に入った彼は、友だちの吉田君、佐藤君といっしょになってしまった。

「やあ田中君か、めずらしいお客さんだ。」

「おれたちにも少しおすそ分けをしてもらおうかな。」

吉田君、佐藤君は、そう言って田中君にパンを多く買うように言いよってきた。

「親友の間がらじゃないか、けちけちするなよ。」

そう言われると、田中君は結局よけいにパンを買うことになった。

おいしいはずのパンであったが、学校の規則を破っての買い食いである。しかも、嫌な友だちの分まで買わされてしまったことから、パンの味までよくわからない気分だった。

翌日の放課後、校庭で遊んでいた田中君は、偶然吉田君と会ってしまった。

「よう田中、昨日はサンキュー。」

「・・・・・。」

「今日はお礼をするよ。」

そう言うと、吉田君はついてくるように言った。

そして、体育館の裏につくと、吉田君はタバコの箱を取り出した。

「一本吸ってみるか。」

「いいよ、やばいよ。」

「平気さ。臆病だなあ。」

吉田君、はなれた手つきで火をつけ、吸って見せた。

「吸ってみろよ、田中。」

「いや、今日はやめとくよ。」

田中君は断ると、逃げるようにその場を去っていった。

また誘われるだろうと思うと、その夜はなかなか眠れなかったが、何日か吉田君に合わないうちに気にならなくなっていった。

ある日のこと、田中君は学校の帰りに近道を通って帰っていた。いつもは通らない公園を抜けて、公民館の裏へまわったときのことだった。

「あっ、だれかタバコ吸ってる。」

数人の中学生だということはすぐにわかったが、田中君に気づいて振り返ったのは吉田君だった。そして佐藤君もいた。

「よう田中じゃないか。」

「どうしたんだ、こんな所を通って。」

「ちょっと近道をしようと思って。」

田中君は、この前のことがあるので急いで帰りたかったが、予想どおり誘われた。

「ちょうどいい、タバコ吸ってみろよ。今度吸うって言ってただろ。」

「えっ、そんなこと言ってないよ。」

「いいから吸ってみろよ。」

どうしよう。佐藤君や、まわりの仲間たちもしつこく勧めてくる。

実践報告にみる留意事項

１　資料・題材について

本資料は，以前文部省（当時）が作成した「中学校　道徳の指導資料　第１集」に掲載されたものを改作している。元はパンの買い食いを強いられる展開であったが，タバコの内容に作り変えた。

生徒が飲酒や喫煙をするきっかけは，自らの興味による場合もあるが，仲間からの誘いによるものも少なくないと考えられる。とりわけ，力関係による強要は深刻であるが，強い意志をもって断るべきは断るという態度を育てたい。

２　指導過程の工夫

導入では，自分の生活とつなげるために資料前半の状況と似たような経験を聞いた。実際にコンビニのパンを提示し，授業に引きつける方法も試みた。

展開では，主人公の心の動きを考えることで，だれにでもある心の弱さを確認する活動を多く取り入れた。

終末は「心のノート」を用いることで，自分の生活を振り返らせた。

３　発問の工夫

すべての発問が，心の弱さと強い意志を考える構成になっている。

「今日はやめとくよ」という断り方を聞く発問では，実際にどのように断ったらいいかを役割演技でスキル学習的に実施することも考えられる。

飲酒・喫煙に限らず，暴走族に誘われる場合でも，服装・態度・行動などですきをつくることが問題であることを考えさせたのが，「なぜ田中君が誘われたのか」の部分である。

４　生徒の反応

本資料は非常に分かりやすい構成であり，一度読めば何が問題なのかはすぐに理解できる。発問２で考えた不用意な発言も容易に理解できたし，正しい行動も考えることができる。ただ，理解することと，自分の生活で実行することの間には溝がある。

平気で断れるという意見が多かったので，**「上級生に誘われたらどうするか」**と聞いたところ，反応は鈍かった。

・「今日はやめとく」という断りかたは，今度は吸うと言っているようなものだ。
・その場しのぎの発言はダメ。
・このままだとパシリに使われるようになってしまう。

５　授業後のフォローアップ

道徳の授業ではその時間の感想を書かせ，数点を学級通信や朝の会・帰りの会で紹介する取組みをしているが，本時は帰りの会で紹介した。

保健体育の授業で１１月に薬物乱用防止の授業を計画しているが，このような様々な学習の機会で，この授業のことを想起させるなどして指導していきたい。

（砂谷中学校）